

「地域密着型バスタ」京急追浜駅における交通結節点整備に関する事業計画策定について

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所

正会員 ○山崎 敦広

同 正会員 鈴木 祥弘

同 非会員 山口 慶

1. 本事業の概要

本事業は、神奈川県横須賀市の京急追浜駅周辺で、駅周辺に分散する11箇所のバス停を駅前空間に集約することで、円滑なモダルコネクト環境を確保するとともに、賑わいを備えた「えき・まち・みち空間」の創出により、世界と繋がる横須賀の玄関口にふさわしい空間整備を予定するものである。

本事業は「地域密着型バスタ」の先駆的事例と考えており、バスタ事業（道路管理者が実施する交通結節点整備）かつ、地域固有のまちづくりの課題解決にも資する事業であることが特徴である。

2. 現況と課題

本事業の対象となる京急追浜駅周辺は、国道16号・357号（事業中）・京急線が広域道路網・鉄道網として主要動線になっており、周辺には、高齢化が進行する丘陵住宅地、低地に展開する住商複合市街地、大規模工場が立地する産業集積地等が存在する。（図1）また、駅周辺には大規模工場、高校が立地し、通勤・通学をはじめとする多くの鉄道利用者が追浜駅を日常的に利用している。また周辺には横浜DeNAベイスターズ等の施設があり、「スポーツタウン追浜」として様々なイベントが催されている。



図1 追浜駅周辺の道路網・鉄道網、周辺地区の特徴



図2 駅周辺の現況（左：バス停の分散 右：駅前広場・交差点の交通錯綜）

現況の追浜駅前は、そうしたポテンシャルがある一方、様々な交通・まちづくり上の課題を抱えている状況である。具体的には①駅前交差点の交通阻害・事故発生、②駅前広場の歩車錯綜、③バス・タクシー乗降場の分散、④歩行者デッキ上の階段、⑤R357延伸による将来的な交通量増加等の課題が存在する。また防災上も京急線・国道16号の追浜駅以南は急傾斜地が多く、以北に比べ災害リスクが高い状況である。

3. 事業のコンセプト・具体イメージ

上記課題等を踏まえ、本事業では「①世界と繋がる横須賀の玄関口にふさわしい交流空間整備・円滑な乗換空間確保」「②駅前空間制約を踏まえた機能の分担整備・空間の階層的活用」「③事業中も地域の賑わいを保つ連鎖型事業推進・地元主体の組織形成」「④平時・イベント時・災害時に機能を発揮」を基本コンセプトに掲げ、令和3年3月に事業計画を策定した。

また、駅前空間の空間的制約により、必要機能のすべてを駅前だけで受け持つことが難しい状況であり、駅前空間に収まらない機能については、周辺の民間事業等と分担し、機能を確保していくこととした。空間的制約を踏まえ、駅前空間は立体的に活用することとし、1階に道路空間として交通ターミナル整備、2階以上に公共施設、商業施設、防災機能を配置し、官民連携による整備・管理を行うこととした。（図3）

さらに防災機能として、災害時の鉄道・道路不通に対応した災害時の乗換拠点機能としての活用や、災害発生直後・復旧段階等でのEV車両の非常用給電等を活用した情報拠点としての機能導入を検討する。

キーワード 地域密着型バスタ，交通結節点，防災機能評価による事業効果把握，連鎖型事業推進

連絡先 〒221-0855 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2 国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所 TEL045-316-3537

4. えき・まち・みち空間の整備の進め方

整備にあたっては、周辺事業とも連携し、段階的事業推進により、空間を有効活用するとともに、連鎖型開発実現を目指す。連鎖型開発とは、地域内の保留地を活用し、地域内での営業継続が可能となる工夫を行うものであり、事業途中でも地域の賑わいを損ねない形で事業を進めたいと考えている。

また、交通ターミナル整備や災害時マネジメントなど、道路管理者としての役割を明確にしつつ、整備後の運営管理などの将来的なエリアマネジメントを見据えた連携体制を構築するべく、地方公共団体・地元事業者出資による「まちづくりファンド」、整備に係る各地域主体や専門家が携わる「えき・まち・みちデザインセンター」などの立ち上げを予定している。

5. 想定する将来の姿・整備効果

本事業の将来の姿としては、図4の通り、関連事業とともに、未来を見据えた駅前拠点創出を目指す。

なお整備効果としては、路上のバス・タクシー乗降場削減、デッキ整備等による交通流円滑化効果、歩行者移動時間短縮効果の他、防災機能評価を踏まえたネットワーク上拠点間ペアの所要時間改善効果を見込んでいる。試算(図5)の結果、平常時約2割・災害時約4割のリンクで時間短縮効果があることが判り、結節点整備がNW側へ効果を及ぼすことが示せた。

今後は本事業計画のさらなる具体化を図り、スピード感を持って事業推進に努めて参りたい。

謝辞：本事業計画は、追浜駅交通結節点整備事業計画検討会（座長：羽藤英二東大大学院教授）での議論を踏まえ、取りまとめたものである。委員各位のご意見・ご指導に際し、この場をお借りして、感謝の意を表したい。

補足：本事業計画の概要版・詳細版は、横浜国道事務所・横須賀市HPにて公表しているため、併せて参照されたい。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/yokokoku00500.html>

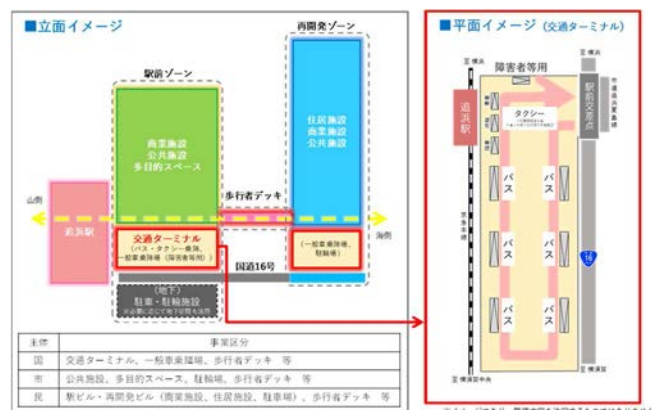


図3 施設配置計画（立面・平面イメージ）

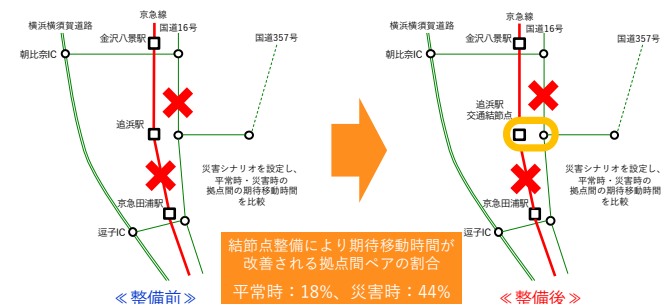


図5 ネットワーク上の拠点間ペア所要時間短縮効果

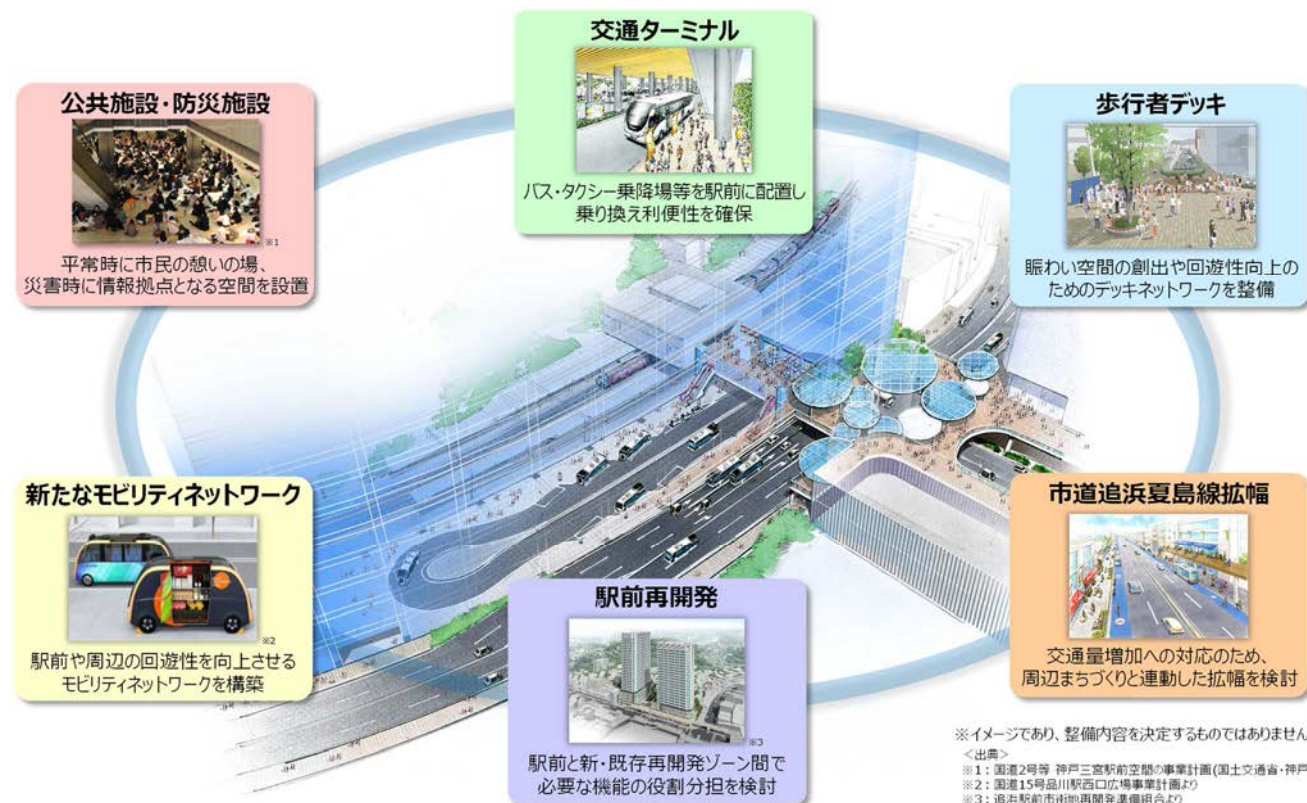


図4 追浜駅交通結節点の将来の姿